

コラム

荻野総務 石川、高岡の20カ寺見舞う

「被災者の要望に沿い支援したい」

宗派は1月12日から家族らから窮状や要望を聞き、14日まで、荻野昭裕総務に目を傾けた。荻野昭裕総務は石川教区と高岡教区に派遣。能登半島地震で特に被害の大きかった石川県珠洲市や能登町、穴水町、そして富山県水見市などの20カ寺を見舞い、住職や



穴水町・光琳寺(長谷川速庵住職)の本堂

活用用ブルーシート、ボールベッドがほしいと答えた。その後、弘崎組長が住職を務める法栄寺を訪ね、被災者の状況を視察し、当時の様子や門徒の現状などを聞いた。弘崎組長は「我々が声を上げて、聞くのとは大違いと見られるので、ボランティアが入ってきたら、宗派も本格的に支援できると思う。支援センターを中心に、被災された方々の要望に沿いながら、もっと身近に、全体的に支援できる活動していきたい」と話した。

また13日は、七尾市の光頭寺(豊原峰学住職)、西徳寺(井藤龍章住職)、浄尊寺(勝尾考住職)、妙万寺(西島誓住職)、専正寺(畠山公昭住職)、志賀町の西教寺(温井大信住職)を訪ねた。同日は高岡教区の、

七尾市・浄尊寺(勝尾考住職)前の道路はマンホールが約70センチ隆起し、軽自動車しか通れない状態。全員で手分けして支援物資を運んだ



高岡市の不遠寺(六浦職)、常尊寺(段證誠恵住職)、要願寺(林也住職)、行忍寺(坂史樹住職)、善證寺(古本研資住職)、常通寺(岡英明住職)、水見市(大川謙住職)を訪問した。

復旧支援隊の現地調査による被害状況



山門が倒壊した石川県能登町・松岡寺(波佐谷真充住職)。このほか庫裏の一部倒壊、内陣の仏具散乱、土壁剥離などの被害



玄関の梁が落下した石川県七尾市・勝円寺(聖學學短住職)。このほか鐘楼倒壊、本堂の厨子倒壊、欄間落下などの被害



庫裏の屋根が落下した石川県七尾市・大乘寺(北藤誠住職)。このほか本堂柱すれ、白壁剥落、経堂壁剥落などの被害

訪問縁に報恩講
 本堂に大きな被害を受けた水見市の常尊寺も、お参りされ大変喜ばれ、荻野総務の見舞いでおられたと話した。法要後には、ボランティアの協力を得て、カレーの炊き出しを行っていた法要を営むか参拝者に振る舞った。

また13日は、七尾市の光頭寺(豊原峰学住職)、西徳寺(井藤龍章住職)、浄尊寺(勝尾考住職)、妙万寺(西島誓住職)、専正寺(畠山公昭住職)、志賀町の西教寺(温井大信住職)を訪ねた。同日は高岡教区の、

七尾市・浄尊寺(勝尾考住職)前の道路はマンホールが約70センチ隆起し、軽自動車しか通れない状態。全員で手分けして支援物資を運んだ

高岡市の不遠寺(六浦職)、常尊寺(段證誠恵住職)、要願寺(林也住職)、行忍寺(坂史樹住職)、善證寺(古本研資住職)、常通寺(岡英明住職)、水見市(大川謙住職)を訪問した。